

東北生産性本部

第54回通常会員総会の開催



5月27日、仙台商工会議所7階大会議室に於いて、第54回通常会員総会を開催いたしました。役員を含めて45名の出席を得て、平成22年度事業報告、平成22年度収支決算報告を審議・承認し、平成23年度事業計画（案）、平成23年度収支予算（案）を審議・決定いたしました。また、今総会は役員改選期であり、会長、副会長（2名）、専務理事、常務理事は重任し、6年間就任頂きました矢内諭副会長に代わり、東北工業大学教授の今西肇副会長が新たに就任を致しました。3月11日を境に東北地方は一変いたしました。当本部としても微力ではありますが、復興支援に貢献できるよう取り組んで参りますので、賛助会員の皆さまのご支援とご協力をお願い致します。

- | | | |
|-------|-------|----------------------------|
| ＜新役員＞ | 会長 | 青木 讓（東日本興業株式会社相談役） |
| | 副会長 | 敦賀 博（東北リコー株式会社代表取締役社長執行役員） |
| | 副会長 | 田村昌徳（東北電力労働組合本部執行委員長） |
| | 副会長 | 今西 肇（東北工業大学工学部教授） |
| | 専務理事 | 山口恭二 |
| | 常務理事 | 齋藤伸一 |
| ＜事務局＞ | 事務局長 | 中村嘉一郎 |
| | 事務局次長 | 松原祥枝 |

総会終了後の特別講演会



5月27日総会后、70名程度の参加を得て、埼玉大学大学院客員教授の水野和夫氏を迎え、『東日本大震災 救援・復旧から日本経済復興の道筋』と題して講演会を開催する。

世界的な視野、歴史的な視点から3・11の意味合いを紐解く。

労使政策研究会全て終了



5月18日、東北電労会館に於いて、37名が参加し、日本リーダー社長の近藤宣之氏による『風通しの良い職場づくり、活力ある職場づくり』をテーマにした労使政策研究会を開催し、大盛況のもと全ての労使研究会が終了した。4回の総参加者は172名。

第一義 ～政治に期待するもの～

最近の菅政権の姿を見る時、腐敗しきった長期自民政権を打倒し、新たな価値観の政治が始まると高揚した1年10ヶ月前のあの時は、一体何であったのか、民主党に票を入れた多くの人がキツネに摘まれている。良く考えれば、旗（綱領）がないところに政権が転がり込んで、政権という権力手中で一層バラバラ感が際立っている。マニフェストも一夜潰けだったのか、与党になると実現性に乏しい。政治主導という言葉は新鮮な感覚を与えたが、官僚の頭脳まで外すとは、危うさを感じるのみであり、政治主導とは決断と責任ではないのか、トップの国家観や覚悟が見えない。大震災の最中、菅降ろしが現実味を帯びてきた。ここは創造的な復興のためにも目的と期限を定めた救国内閣が必要かもしれない。与野党とも揚げ足を取る政治から、国民が夢と希望の持てる社会を描き、強力なリーダーシップで導くことである。勇気ある政治家が決起すべきである。（記S・S）